



山家道の道標

南北の道は山家道(やまがみち)(街道)といい、かつて西国街道の太田(茨木市)と富田を結んでいました。道標の四面に刻んでいます、「すぐ」は直線のことを指し、直進した場合の行先を示しています。うち三面は霊場で、西行は総持寺(茨木市)、北行は能勢妙見山(能勢町)、東行は吉峯寺(京都市西京区)を案内しています。

南行の三島江・唐崎・枚方は、淀川三十石船の河港や渡し場であり、霊場を巡礼する多くの人々が、淀川の船運を利用してここを行き交っていたことが、うかがえます。

平成 26 年 3 月 高槻市教育委員会

※01 山家道の道標 道標の高さは、89cm。

南面(正面)には、「すぐ 妙見」。

東面(右面)には、「すぐ そうじ寺」。「寺」は、崩し字

北面(裏面)には、中央上に「すぐ」、

下には3行で「ミしま江」:「三島江」 「加良さき」:「唐崎」

「ひら加多」:「枚方」。

「加」「良」「多」は、それぞれ「か」「ら」「た」の変体仮名。

西面(左面)には、「すぐ よしみね」

※02 富田を基点とした、山家道・総持寺道がここで分かれる。